

2025年度の取組報告



矢作川・豊川CNプロジェクト

矢作川・豊川CNプロジェクト 現地視察レポート(1)

○ 矢作川・豊川CNプロジェクトで進めている主な個別施策及び水インフラ空間をフィールドとした民間企業による新技術の実証実験について、矢作川・豊川CN推進協議会構成員の有識者による現地視察を行い、今後の施策の課題等の把握に資することを目的として実施

【実施日】

2025年11月18日（火）

【視察場所】

- (1) 豊橋浄水場
- (2) 菱池遊水地
- (3) 堤防法面太陽光発電
- (4) 矢作川浄化センター

【有識者】

池内 幸司氏（東京大学 名誉教授、
公益社団法人土木学会会長）
山内 弘隆氏（一橋大学 名誉教授）



矢作川・豊川CNプロジェクト 現地視察レポート(2/2)

①豊橋浄水場 視察状況



③堤防法面太陽光発電 視察状況



②菱池遊水地 視察状況



④矢作川浄化センター 視察状況



◆有識者講評◆

- ・ 愛知県の熱心な野心的な取り組みを見させていただいた。
- ・ 上手く定着させて、世の中に対して発信していただければよいと思う。
- ・ 既存の制度で変えた方がいいと思うものは声をあげた方がよい。

矢作川・豊川CNプロジェクトシンポジウム開催結果(概要)



- 矢作川・豊川流域を対象として、“水循環”をキーワードに流域一体でカーボンニュートラルを目指して2021年から「矢作川・豊川CNプロジェクト」に取り組んでいる。
- 本プロジェクトを全国に発信するため、シンポジウムを開催。

○開催概要

タイトル：カーボンニュートラルの未来を切り開く ～流域一体でのカーボンニュートラルへの挑戦～
 日時：2026年1月16日（金）13:30～16:30
 場所：ウイングあいち大ホール（オンライン同時開催）
 参加者：837名（会場611名、オンライン226名）

○プログラム

- ・開会挨拶 大村知事
- ・特別講演 宇賀 なつみ 氏
- ・矢作川・豊川CNプロジェクトの取組紹介
 - ①遊水地上部空間を活用した太陽光発電
 - ②森林資源の循環利用と森林クレジット
 - ③HEVモータを再利用したマイクロ水力発電システムの実証
 - ④遊水地堤防法面での太陽光発電の実証
 - ⑤浄水場の再整備等による省エネルギーの推進

・パネルディスカッション
 コーディネーター
 名古屋大学 准教授 中村 晋一郎氏
 パネリスト
 愛知工業大学 教授 雪田 和人氏
 (株)リバー・ヴィレッジ 代表取締役 村川 友美氏
 豊田市副市長 辻 邦恵氏
 国土交通省 水資源計画課長 田中 敬也氏



【総合司会：高坂実優氏】



【知事挨拶】



【特別講演：宇賀なつみ氏】



【③トヨタ自動車 生島氏】 【④パシフィックC 小森谷氏】

【取組報告（民間）】



【中村氏】 【雪田氏】 【村川氏】

【辻氏】 【田中氏】

・本取組の意義や課題などについて議論
 ・取組をさらに展開していくため、今後も一つ一つ取組を実践し、知見を蓄積していくことなどが必要

【パネルディスカッション】

矢作川・豊川CNプロジェクトシンポジウム開催結果 パネルディスカッション

■ テーマ 「流域一体でのカーボンニュートラルへの挑戦～愛知から全国へ～」

コーディネーター パネリスト



名古屋大学
准教授
中村 晋一郎 氏



【有識者】
愛知工業大学
教授
雪田 和人 氏



【民間企業】
(株)リバー・ヴィレッジ
代表取締役
村川 友美 氏



【流域市】
豊田市
副市長
辻 邦恵 氏



【国】
国土交通省
水資源計画課長 兼
内閣官房水循環政策本部
事務局 参事官
田中 敬也 氏



(まとめ) これからの流域一体でのCNの取組への期待、今後の横展開、全国への拡大について

①これまでの先進的な取組の積極的な発信

- 先進的な取組の課題と改善方法・効果を明確化し、積極的に発信・PRしていくことが必要である。
- 取組の効果については、データに基づいて数値的に示すことが重要である。

②取組の積上げと取組の幅を広げる

- できる取組から一つ一つを実践し、モデル的な知見を蓄積していくことで、規制緩和や横展開に繋がる。
- 様々な立場の人が関わられるよう、市民目線の小さな取組も積み上げていくことで、取組に広がりが見られる。

③矢作川・豊川CNプロジェクトの今後の取組の方向性や将来像をとりまとめて発信

- 矢作川・豊川流域で行っていく取組を、流域みんなで共有できる指針としてとりまとめて発信することが必要であり、これにより他地域にも広がっていくことが期待される。
- カーボンニュートラルは一つの目的ではあるが、その先にある流域や地域へのメリット（持続可能な社会構造への変革や健全な水循環など）を示し、そこに繋げていくことが必要である。

(参考)プロジェクトの発信実績

2025

4月 機関誌「人と国土21」で紹介
「あいち都市緑化フェア」でパネル展示

5月 「AXIA EXPO 2025」に出展

6月 矢作川流域圏懇談会で紹介

9月 月刊誌「河川」で紹介

10月 「SDGs 子ども・ユースフェア(SDGs AICHI EXPO)」に出展
ブラアイチin西尾で紹介
国内外における流域カーボンニュートラルプラットフォームで紹介

11月 「県庁公開イベント」でパネル展示

12月 「建設技術フェア2025in中部」で紹介

2026

1月 矢作川・豊川CNプロジェクトシンポジウム開催
「カーボンニュートラル・テック・フェア(名古屋商工会議所)」に出展
機関誌「礎あいち」で紹介

2月 月刊誌「土木施工」で紹介
矢作川環境技術研究会で紹介

